参考となる成果整理表

中通り平坦部でエゴマ「下郷町在来」を移植栽培する場合、播種は６月上旬が適する

福島県農業総合センター　作物園芸部　畑作科

1　部門名

普通畑作物―その他―作型・栽培型

2　担当者名

伊藤稜晟

3　要旨

福島県のエゴマは、その地域に根付いた在来系統が栽培されている。本試験では、播種・移植時期の分散を目的に、本県在来早生系統「下郷町在来」を中通り平坦部で播種時期を変えて栽培した。その結果、6 月上旬より前に播種すると生育が異常となる可能性があり、中通り平坦部で「下郷町在来」を移植栽培する場合、播種は 6 月上旬が適することが明らかとなった。

（1）農業総合センター内ほ場（郡山市）にて、「下郷町在来」を 4 月上旬、5 月上旬、6 月上旬に 128 穴セルトレイに播種し、それぞれ 5 月上旬、6 月上旬、7 月上旬にほ場に移植した。

（2）「下郷町在来」を 4 月上旬に播種した場合は、早期に開花し子実が得られなかった。また、5 月上旬に播種した場合は、生育異常（葉の形態異常など）が確認された（図 1）。6 月上旬に播種した場合は、他の播種時期と比べ、収量が最も多かった（表 1）。

（3）「下郷町在来」（JP 番号：147427）は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構遺伝資源研究センターから提供を受けた。

表 1　播種時期別の生育および収量（農業総合センター内ほ場、2024 年-2025 年）

播種時期	移植時期	開花期（月/日）	成熟期（月/日）	草丈*2（cm）	主茎長*2（cm）	主茎節数（節）	一次分枝数（本）	収量（kg/a）	千粒重（g）
4月上旬	5月上旬	6/ 4	-*1	22	12	4.3	0.3	-	-
5月上旬	6月上旬	8/ 4	10/ 6	114	110	20.6	11.2	6.8	2.5
6月上旬	7月上旬	8/24	10/ 6	121	42	9.2	9.8	7.5	2.8

＊1　4月上旬播種区は子実が形成されなかったため、成熟期不明。

＊2　草丈は2024年、主茎長は2025年の単年度のデータ。



図 1　5 月上旬播種　生育異常　（葉の形態異常）

4　成果を得た課題名

（1）研究期間　令和 3～7 年度

（2）研究課題名　刈取適期が短いエゴマの機械化栽培体系の確立〔地域特産活用産地づくり支援事業〕

5　主な参考文献・資料

（1）熊本県農業研究センター高原農業研究所「高冷地におけるエゴマの省力安定生産技術」

（2）平山，「福島県におけるエゴマ（在来系統）の播種適期は 6 月上旬」，平成 29 年参考となる成果